

議 事 概 要

1 会議の名称

平成29年度第1回長久手市中央図書館運営協議会

2 開催の日時

平成29年11月16日(木) 午前10時から11時20分まで

3 開催場所

長久手市中央図書館 2階 事務室内会議室

4 出席者

(委員長)	菅野育子
(副委員長)	羽生田正勝
(委員)	岩田猛
	吉田真理子
	神子有理子

(事務局)

教育長	川本 忠
教育部長	加藤明
教育部次長	川本晋司
中央図書館長	高崎祥一郎
同主幹	二之部香奈子
図書係長	近藤一英

5 欠席者

横山 光男

6 会議の公開・非公開

公開

7 傍聴者

2名

8 審議の概要

- (1) 平成29年度上半期事業報告について
- (2) 第2次長久手市子ども読書活動推進計画策定について
- (3) 長久手市中央図書館管理運営検討委員会について
- (4) その他

9 問合せ先

長久手市教育委員会 中央図書館

TEL 0561-63-8006

議 事 録

あいさつ 教育長

事務局 (会議成立を確認)
それでは、議事進行は委員長へお願いします。

<議題1 平成29年度上半期事業報告>

委員長 それでは、議題(1)の平成29年度上半期事業報告を事務局からお願いします。

【資料1「利用状況」を説明】

【資料2「子ども読書活動推進計画事業」を説明】

【中高生向け図書の充実を説明】

【資料3「現代美術展 ビブリオテカ・アルテを説明】

<議題(2) 第2次長久手市子ども読書活動推進計画策定について>

<議題(3) 長久手市中央図書館管理運営検討委員会について>

委員長 以上の上半期事業報告について、何か質問等がありますか。

委員 この第1回目の会議の時に、今年度の事業方針、運営方針などを示すべきではないでしょうか。

事務局 今年の3月に開催した、平成28年度第3回長久手市中央図書館運営協議会の中で平成29年度の事業方針等について説明しましたので今回は実績報告のみとさせていただきます。

委員 やはり目の前で見て説明をしていただけるともっとわかりやすいので、要望ですが、第1回目の会議では方針等見せて下さい。

委員長 大変貴重な意見ありがとうございます。
教育長以外は再任ということで、前回の資料については事務局側もお目通しをいただいているつもりであったと思いますが、以前の資料をお持ちいただくようお願いをしたり、あるいは前回の説明した資料等を添えながら説明を行うように今後気をつけていきたいと思います。
丁寧さが不足しており申し訳ございません。事務局側もよろしいでしょうか。
他にこの利用状況で何かありますか。

委員 新規登録件数が12%減少しているとのことですが、新規というのは若い人や新たに転入してくる人だと思いますが、やはり小中学生、高校生が減っているところだと思いますが、そういった傾向が図書館にもあるということでしょうか。

事務局 新規登録者の年代別の統計は把握していません。
利用者で一番多く利用しているのが40代、その次に利用があるのが30代であり、その年代の新規登録者が多いと把握しています。
また、家族で転入される方が多いので、お子様の分も併せて新規登録されるのがもっとも多いと把握しています。

委員長 ありがとうございます。先ほど事務局の説明でも年齢層による分布があったかと思いますが、できれば今後は、どのような年齢層の方が新規登録をしているのか表や図にして添えていただくとわかりやすいし、分析も年齢層の視点からの結果があるので、その裏付けをもらえればさらにわかりやすいと思います。

委員 新規登録者数は減っていても良いと思います。
総登録者数が市の人口に対して何パーセントかなど、それを示した方が、図書館としての利用ニーズがわかりやすいのではないのでしょうか。
新規登録者数にこだわっているが、これにこだわる必要はないと思います。

- 事務局 平成28年度年報11Pをご覧ください。長久手市の人口を市内登録者数で割ると約53%です。
- 委員長 その数値は、全国と比較するとどうでしょうか。全国と比べると高いと思いますが。
- 事務局 12Pをご覧ください。愛知県平均は40.4%、全国平均は41.2%です。
- 委員長 とはいえ決して多いと言っはいけないと思いますので、今後も引き続き努力をお願いします。他に何かありますか、年報の方も併せてご覧いただいて、ご意見いただければと思いますが、よろしいでしょうか。
- 委員長 会議室、多目的ルームの時間延長の効果について、図書資料の貸出数ではなく、入館者数の増などがあつたりすると思いますが、事務局としては効果をどのように捉えていますか。
- 事務局 2階の会議室、多目的ルームは読書、調べ物をしたり自由に使える部屋だが以前は利用時間を午後5時としていたものを午後7時までとして利用時間を延長しました。部屋の使い方そのものは自由なので、部屋を利用した方が必ずしも本を借りるわけではないので、貸出数の統計には現れません。ただ、午後5時以降の入館者を日常的に統計をとっていますが、その数字は増えてきているので、関連性はあるだろうという見立てをしています。
- 委員長 効果が出てきているということで、今は必ずしも貸出件数だけでサービスの結果を判断することはしないので館長がおしゃったような効果をひとつずつ見ていきたいと思います。また後で意見の追加も結構ですので、二つ目に移りたいと思います。
- 委員長 子ども読書活動推進計画についてはいかがでしょうか。
- 委員長 ブックスタートパックの本の予算はどういう科目ですか。
- 事務局 消耗品の予算科目です。
- 委員長 人口が増えていますが、予算的には大丈夫でしょうか。
- 事務局 予算要求時にきちんと加味して対応していきたいと思います。
- 委員長 学校連携事業についてはどうでしょうか。
- 委員長 中央図書館のおはなし会に来る子は学校の方で担当者と関わる子どもが多いですか。
- 事務局 学校連携司書は子ども達からも声かけをしてもらえるような存在となっておりますので、顔を見ただけで近寄ってくれる雰囲気ができあがっている状況です。
- 委員長 つまり出張して公共図書館のサービスを学校へ拡大している結果が、今度は逆に学校の児童が中央図書館へ来ることで連携の相乗効果ができているということで、大変結構なことかと思います。
- 委員長 児童館連携についてはどうでしょうか。

- 委員長 この事業の人材についてはどのようになっているのでしょうか。
- 事務局 本の選書、図書室のリニューアル等の作業は必ず司書資格をもった職員で担当するようしており、中央図書館の嘱託職員が中心となり行っています。
- 委員 レイアウトは本がぎっしり入っているよりは本の表紙が見える置き方など、ゆったりとした方が子どもは手に取りやすいと思います。
廃棄した本の方がどちらかという数が多いと思いますが、本の数が少なくっているのではないのでしょうか。
所蔵数は以前と一緒の数でやっているか確認ができますか。
- 事務局 本の廃棄については、作業に入る前に児童館の担当者と必ず打合せを行っています。
児童館側のニーズを把握して、リニューアルの程度を確認するためです。
すべての児童館から職員ではどの本を廃棄していいかわからないという意見があります。
図書館側が廃棄を少なめにするかという提案をしても、児童館側としては思いきって入替えをしてほしいという意見が多い現状です。
ロングセラー、はやりの本、児童館のニーズも配慮しつつ中央図書館から団体貸出として行っています。
また、本を面出しするなど工夫して配置して、子ども達によく借りてもらえるにしています。
- 委員 60年、70年読み継がれるロングセラー本とかが最近話題になっています。
リニューアルなどして字が大きくなってたりしたら新しいものを配置してください。
そうすれば、家に帰って親子やおじいちゃん、おばあちゃんと同じ本の話ができると思います。
いいものがあれば配置していただけるとありがたいです。
- 委員 写真を見ると、子どもが集まっている遊んでいる場所で、棚の高い位置に本が陳列されていますが、上の方には重い本を置かないようにする、又は本を置かないなどの地震対策は大丈夫でしょうか。
新しい児童館ですと書架自体が低いと思いますが、上郷児童館は高いので、本をたくさん読んでもらいたいという気持ちも分かりますが、いつなかが起こるか分かりませんので。
- 事務局 資料に添付してあるリニューアル前、後の写真をご覧ください。
リニューアル前は一番上の棚に電話帳より分厚い百科事典が配置されていましたが、これを改め、廃棄などを行い、リニューアル後は一番上の棚を空けて、2番目に高い棚は小さいソフトカバーの本を配置しました。
また、上の方の棚には対象年齢が小学校高学年向けの本を配置するなど、レイアウトに関しては緻密に計算して設定しました。
- 委員長 棚については備え付けでしょうか。
- 委員長 そのとおりです。
- 委員長 本の下から1～2cmのところにはひもを張って本の落下を防ぐ対策もあります。このような防災対策は市全体で関わることなので図書館が率先して行っていただきたいと思います。
- 委員長 中高生向け本の充実についてはどうでしょうか。
- 委員 中高生向けの本の充実の内容については素晴らしかったと思います。
気になるのは、議会で話題になった予算の流用、新規の本の購入が減っているというについてお聞きしたいです。
- 事務局 蔵書の構成についてですが、全体の割合の中で中高生向けの本を増やすことを考えています。
中高生の読者層が全国的にも少なく、長久手も同じ傾向であることから中高生向けの本の数を増やし、バラエティ豊富にさせることが必要と考えています。
棚の分量をを3倍にし、見せ方の工夫してアピールしていきたいと考えています。

- 委員 図書費全体が削減された中で、中高生向けの本の割合を増やすことは他の分野の本が少なくなるということなので説明をいただきたいと思います。
- 事務局 地域住民から砂埃などの対策を要望があり、図書館側としても重要な駐車場であり、これからも使い続けていくためには舗装化を緊急的に行う必要があると判断し、修繕費も予算としてありましたが、それだけでは足りなかったため図書費からやむを得ず流用しました。金額的に減った部分については平成29年度の予算の中でバランスを考慮して補っていきたいと考えています。
- 委員長 他の利用者層の本が少なくなることは大丈夫でしょうか。
- 委員長 今、話題の図書館は月刊誌や週刊誌などの中老年用の女性用雑誌が充実して、来館者増につながっているというような話題になっていました。ここの図書館は雑誌が少なくスペースが狭いので、そのようなことも来館者を増やす方法として検討して下さい。雑誌を読むために図書館を利用することから次の本に手がいくのではないかなど、そして雑誌をそろえていこうとすると、図書購入費から流用するという話がしにくくなるのではないかと思います。やはり図書購入費は図書を購入する費用としてキープしてもらって、他のものについては緊急で予算を組むなど別の方法もあったのではないのかなと思います。
- 委員長 図書館年報の10ページの表をみると図書資料購入費が一時、非常に少なくなっていて、そこからまた戻り、全体数としては上がってきています。ただ各年齢層にバランス良く資料が行き渡る構成ということになりますが、資料構成が、残念ながら22ページ、23ページに児童資料として抜き取ってありますが、中高年層や高齢者層などについても分布も見てバランスを取っていくという必要があるという委員の意見もありますので、年齢層よっての分析を次回からの資料に加えていきましょう。
- 事務局 わかりました。
- 委員 読書感想文の書き方のプリントについてはこれは非常にいいことでありますし、中高生はスマホなど使い出して図書館に行かなくなる分岐点の年代だと思います。読書離れの人を呼び戻すきっかけになるように思いますが、このあたり実施した感触としてはどうでしたか。
- 事務局 昨年は、小学生向けのみだったが、たくさん子どもたちが手に取っていました。プリントを持って行くだけでなく、土日に図書館にいる学校連携司書に子どもたちから教えてほしいなどの声を多くかけられました。このことから図書館として必要なものと判断し、今回は中高生向けの本を充実させるタイミングと合ったため、中高生向けのプリントを作成しました。小学生と中学生で動きに違いが見られました。小学生は、プリントを見てカウンターにすぐに聞きにきていましたが、中学生は、まず一人で書棚でプリントを読んでみるというのを大切にしている傾向がありました。なので、こちらからコミュニケーションを取ること大切だが、中学生が書棚でまず一人で楽しめるという空間を考慮しました。プリントも書棚に置いて自由に持って行ってもらう形にしました。小学生についてはカウンターなどで小学生の方から職員へのコミュニケーションがありますが、中学生の場合は本を一人でまず楽しんでもらうようにするのが大事なんだということを感じました。
- 委員 ありがとうございます。非常に良いことなので、ぜひとも今後ともやっていってもらって読書離れの中高生が読書好きになってもらえればと思います。
- 委員 読書感想文のプリントはオリジナルですか。

事務局 オリジナルです。

委員長 図書館の様子にカラフルな写真が入っていますが、さっき話しがでたので、ヤングアダルト棚についても少し詳しく教えてください。

事務局 先ほどの説明で、全1,000冊の中で文学関係が500冊、教養等で500冊となっています。書架全体でいうと向かって左側が文学、小説が多くあり、真ん中にはスポーツ、占いなどを配置し、さらに従来美術の本の隣にあった漫画などをヤングアダルトの横に配置しました。幅広いジャンルの本を置きました。棚全体に楽しめる本を置いてあります。

事務局 補足しますと、今まで棚1列分であったのを3列に拡大し、左側に本の表紙が見えるように配置するスペースも作り、表紙をたくさん出すことにより、視認性を高め、本を取るきっかけづくりを高めました。2階の会議室、多目的ルームでは中高生がよく学習をしているので、その部屋の前にヤングアダルトコーナーのPRをしたコルクボードを設置し、ヤングアダルトコーナーへ足を運んでもらうような取組をしたところ です。

委員長 ビブリオテカ・アルテについてですが、活動はどのくらいの割合でされているのでしょうか。

事務局 ビブリオテカアルテの展示は年1回です。

委員長 それ以外のときは何か使われていますか。

事務局 ギャラリースペースは貸館スペースとして、一般市民の方に利用いただいている。後は、文化の家のアートフェスティバル等で使用しています。

委員長 1年間で何パーセントぐらい使われていますか。広いスペースなので、何か活用できないのかなとも思いますが。

事務局 習字や絵画のサークルなどが作品展示する等で利用しているが、利用率が40%ぐらいです。

委員長 もう少し利用率を上げたいですね。貴重なスペースなので、図書館の座席数などを考えたときに、展示を優先すべきなのか、利用スペースを優先すべきかの議論が出た際にも、図書館の特色でもあるので、集客のためにも利用率を増やしていきたいですね。

委員長 (2)子ども読書活動推進計画についてはいかがでしょうか。

事務局 この計画は、子どもの読書活動の推進に関する法律に基づき平成24年度に策定し、平成25年度から展開してきました。内容について簡単に言うと、いかに子どもが読書をするように導くかという計画です。家庭、地域、学校、図書館、保育園等が連携し合い、子どもが自主的に読書活動に取り組んでいけるように働きかけていくものです。ボランティアとも協働していただくということでもあります。それに基づいて、ブックスタート、学校、児童館連携を展開してきました。この計画が5年で終わりますので、現在第2次の計画策定に取りかかっており、ボランティア団体、学校、保育園などにアンケートを配付しました。策定委員につきましては、学識経験者、司書教諭、保育園関係者、図書ボランティア、公募市民から構成し計画を策定していきます。

委員長 何か質問はありますか。

委員 把握しているかわかりませんが、学校で朝読書を行うと子どもがその日落ち着くと聞いていますが、市内ではどの程度定着していますか、また朝読書の短い読み物が提供されているのか把握している範囲で教えてください。

- 事務局 朝読書については、現在すべての学校で行っています。
この活動は、図書館の学校連携職員も一緒に行っています。朝読書で読む本に関して司書教諭の先生と確認した上で、学校連携司書が本を揃えています。
- 委員 生徒も忙しく、学校の図書館の活用がほとんどされていません。なので、図書館を利用するきっかけ作りとして朝読書がうまく利用できればなと思います。本当は移動図書館があればいいと思いますが。
- 事務局 あいにく移動図書館はありませんが、それに替わるものとして学校連携司書が日々、各学校からの本の要望を確認し対応しています。必要な時に必要な本を学校に届けることができるようになっていきます。
- 委員長 本来法律から考えると小学校等でも司書教諭という先生が求められておりますが、実際にはお忙しいお立場で長久手市ではそのあたりの確認をよくとって図書館の方から人を派遣し、資料を持ち込んで細やかなサービスを展開しています。これは全国的に見てもかなり高いレベルの活動と言えます。
これは第一次子ども読書活動推進計画の遂行にもすごく役に立ちましたし、第二次でもそのあたりさらに強化されていくことになると思います。
策定委員会は12月にあるとのことですが、会議の結果についても運営協議会で報告がありますか。
- 事務局 会議の結果については、こちらでも報告します。
- 委員長 (3)管理運営検討委員会についてはどうでしょうか。
- 事務局 昨年度の運営協議会において、運営協議会とは別に管理運営形態について詳しく議論をする組織を設けるようにとの提案から、今年度、外部の有識者を集めて10月31日(火)に第1回目の会議を行いました。まずは、様々なデータを基に図書館の現状について説明し、その後各委員から感想をいただきました。
- 委員長 今後の検討委員会のくわしい報告は次回あたりにいただけるということでしょうか。
- 事務局 回目の運営協議会で結果を詳しく報告します。
- 委員 全体的に話を聞いてみて、図書館の努力とか中高生向けの本のことなど、運営は全体的に良い感じがします。図書館にも手作りのものが多いが、本屋も普通の本屋に比べて手作りのものが多い方が売れ行きも良いというし、今は本屋大賞というものもあり、その作品とかもあるので、いいなと思います。
先ほど別の委員がおっしゃったように特定の世代でなく、年配の世代とか、あと新規の方の話考えたときに、この立地条件的なこともあって、年配の人は例えば雑誌とかを充実しても、図書館の近くの方は来られるかもしれないけど、図書館までの坂は結構大変だと思います。かといって駐車場も先ほどの話であつたようにきれいになりましたが、それだけでなく、Nバスとか移動図書館とか少し試しにでも市役所が考えてやっていただければ、今、市が洞小校区より北小校区の方が人口が増えつつあるので、そこに引っ越してくる方は若い世代が多いので、子どもも多いと思いますが、小さい子どもがいると時間がなくて図書館に来れないと思います。その部分で交通手段があるといいのではないのでしょうか。
Nバスも私が見ている限りですが、前よりは良いと思いますが、稼働率が今ひとつだと思いますので、充実させれば、喫茶スペースもあるので、年配の人が午前中からきたり、新しい世代や遠くの人を呼び込むのにはいいのではないのでしょうか。図書館の人がすごく努力をされていても、限界がありますし、まず来てもらわないと話にならないと思います。
- 委員 スポーターミナル構想の中で体育館の新築の計画していますが、その周辺に図書館をもっていけないかなと、市役所の辺りに全部あると、交通網は整っているので行きやすいのかなと。坂を上る必要もないし、検討してもらえればと思います。体育館だけでなく図書館もあればと、ただ、日進市をみていると図書館だけでも駐車場がすごい必要で、いつも満車なので、来館者がたくさんあるみたいです。
そのぐらいの図書館になるにはやはり立地条件も必要だと思いますので、考える必要があると思います。

- 委員長 この会議でも何度となく立地条件については話をしてきました。
今回、特に年齢層に合わせたサービスをもっと、というところで、本当に長久手の図書館は、子どものため、中高生のためのサービスを全国一といってもいいぐらい、充実してきたと思います。
だからこそ、今このような声があがったのだと思います。
つまり、40代、50代の働き盛りの方がお仕事の後に寄っていただく、それから高齢者の方が坂を上らなくてもいい配慮、それが図書館の新築にも関わっていく。
あるいは分館の制度とか、移動図書館であるとかいろいろたくさんご意見が出てきました。
この会議の中で少しずつ先々の課題が触れられていくのは、実は事務局側からの報告がしっかりしていること、課題をひとつずつクリアしていただいている結果だと思います。
ということで、ぜひ議事録にはしっかりと今後、各年齢層に万遍ないサービスを検討をしていくことを意識しながら、データを見ていこうということ、それから立地条件については、教育部長からご意見の方を頂きたいと思います。
- 事務局 図書館の立地については、いろいろご意見をいただいていることは承知しています。
図書館も課題として認識しています。すぐ建て替えとかあるわけではないが、課題としてもっていき、分館を作るとか、日進のように場所を移動してもっと大きいのを作るのかとかあると思いますが、ゆくゆくは課題なんです、ずっとここにいて今のままで良いということは図書館としても思っていない。
中央図書館という名前があるので、分館や支所というそのような形も考えていかなければいけない時期に来ているのではないかとこれは図書館としても思っています。
どこに作るのか、特定の資料に特化した支所などを作るなど、その辺も含めて今後の研究課題だということは事務局側も承知しています。
今すぐとか近い将来と言われるとまだまだ研究不足かなと思います。また、みなさま方からも意見をいただきたいと思いますのでどうかよろしくお願いします。
- 委員 私は古戦場に古民家を移築するよりは図書館をと思っていましたが、広い土地がありましたので。
- 事務局 議会の中で、古戦場のところというのを何人かの議員から話がありましたが、ただ一般の声を拾い上げるということをまだやっていないので、今回、教育進行基本計画を策定する中で、そういったご意見があれば、拾い上げて、古戦場のところに移動するのかがどうしていくのかということを検討する、しないなどの方針をみていくことができるのではないかと思います。
教育大綱の中では大きな方針をうたっているだけなので、実際どうしていくかは、教育振興基本計画の中で、方向性をみていく必要がある、それには運営協議会の意見も入れていかないといけないかなと思います。広く意見を取り入れる姿勢が大事だと思っています。
- 委員長 もう一度、計画の名称等を教えてもらえますか。
- 事務局 教育振興基本計画というのを策定しております。教育関係のいわゆるマスタープランになるものでありますので、長久手市が策定しました総合計画の下に教育大綱と並んで教育の基本方針を示したものになりますので、その中にも当然、図書館も入ってきますので、そこで触れていけたらなと思います。
ただそこで古戦場に図書館新館又は分館を作る、作らないなどの決定することではないので、そういったことを検討していくことを盛り込めればと思います。ただ、そういったご意見を拾い出さないといけないと思います。
- 委員長 長久手市全体のいろいろな検討の中に図書館の移築、分館などの話題が上がる時期に来たという確認が取れたことは大変良いことだと思います。
今、話のあったいくつかの策定するものはパブリックコメントを出されるご予定でしょうか。特に公共施設に関するものについてとかです。

- 事務局 今やっているといます。パブリックコメントも上がっています。
近々、意見交換会もやるとしています。
教育振興基本計画はまだこれからで、地域の方にはこれからヒアリングです。
「教育」ですので、生涯教育や学校教育など全部含めた計画になるので、図書館についても記述をしていくことになると思います。
だいたい10年後どうしてたらいいのかという計画になります。その中で中間目標のような形でとりあえず5年間はどうかやっていくか、実施をする項目をあげていくというような計画になるので、概念的なものではなく、事業としてあげていくことを記述する計画になります。その中に図書館についてのご意見があれば、図書館について今後5年間はこんなことをやっていくというようなマスタープランではないですが、大きな計画を作っているの、そこに書き込んでいけば図書館としての方向性がはっきりしてくるのではないかなと思います。ご意見を市民の方や関係者の方からいただこうと思っています。
- 委員長 詳しいご説明ありがとございました。
ますます委員の方からのご意見が大切になっていきそうですね。
- 委員長 その他にありますか。
- 事務局 蔵書点検の期間についてですが、毎年2月頃に行っています。
毎年休館日を連続で13日設けて実施をしていますが、今年度は3日追加して、合計16日間の連続した休館日を設けさせていただく予定があることをお知らせさせていただきます。
内容につきましては、前半は通常通りの蔵書点検を行います。それに追加して、児童書3万冊程が対象になる見込みですが、追加の作業を行います。通常の蔵書点検の作業の中では追加の作業が、どうしても入れ込むことができなかつたので、やむを得ず3日間の休館日を追加することを検討しています。
具体的に申し上げますと、1階と地下の閉架書庫の絵本につきまして、絵本の並び替えを現在は出版社の50音順で並んでいます、出版社ではなく違う方法で並べることも考えています。
- 事務局 例えば、タイトル順であるとか、作者順であるとかを今、県内の図書館の状況を調べておまして、どういったやりかたがいいのかというのを研究しています。
- 事務局 長久手の絵本の並べ方が、一般的ではないということなので、みなさんがより探しやすいようにするにはどうしたらいいかという研究をしています。ということで長期休館の間に並べ替えをさせていただきたいということで今年に限り3日ほど休館日を延長させていただきたいと思っています。
- 委員長 絵本も様々で、物語絵本と科学絵本に対立できると思いますけど、そのようなテーマで考えていただいたり、あとは年齢別などでも見つけやすい方法としてあるのではないかと思う。また仕掛けなどについての展示の仕方を考えていただくなど、たくさんアイデアがありがたいと思いますので、またご報告を楽しみにしています。
- 委員長 それでは他にあるでしょうか。なければこれを持ちまして平成29年度第1回中央図書館運営協議会を終了します。ありがとうございました。